

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団の概要

基本理念

一人ひとりのおもいを大切にします

私たちは、利用者や地域のみなさん一人ひとりの、それぞれのおもいを大切にしていきます

みなに笑顔届けます

私たちは、みなさんすべてに、心からの笑顔が生まれるよう努めています

地域のくらしを守ります

私たちは、地域のみなさんの、自分らしく、生きがいのあるくらしを支えています



施設位置	施設種別	施設名	所在地	利用定員(名)
①	法人本部	事務局	〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階 TEL099-257-7667 FAX099-259-3939 E-mail j-office@kagoshima-swc.jp	—
②	児童養護施設	仁風学園	〒891-1304 鹿児島市本町458-1 TEL099-294-2354 FAX099-294-4410 E-mail jinpu@kagoshima-swc.jp	100
③	児童養護施設	若葉学園	〒899-5411 給良市錦倉190番地2 TEL0995-65-4313 FAX0995-65-4609 E-mail wakaba@kagoshima-swc.jp	88
④	養護老人ホーム	慈眼寺寿光園	〒891-0146 鹿児島市慈眼寺町16番地7号 TEL099-268-2514 FAX099-267-7981 E-mail jigenji@kagoshima-swc.jp	70
—	婦人保護施設	—	—	30
⑤	保育所	同胎保育園	〒892-0819 鹿児島市柳町3番地20 TEL099-222-2654 FAX099-222-2694 E-mail douhou@kagoshima-swc.jp	150
	地域子育て支援拠点事業	上町わくわくランド	—	—
	放課後児童健全育成事業	同胎学童クラブ	—	—
⑥	保育所	鹿児島みなみ保育園	〒890-0068 鹿児島市東都元町18番地3 TEL099-253-3145 FAX099-253-3146 E-mail k-minami@kagoshima-swc.jp	110
⑦	地域子育て支援拠点事業	鹿児島市南部親子つどいの広場 (たにっこりん)	〒891-0117 鹿児島市西谷山1丁目3-2 TEL099-266-6501 FAX099-266-6502 E-mail tanikorin@kagoshima-swc.jp	—
—	母子生活支援施設	—	—	20世帯
⑧	障害者支援施設	ゆすの里	〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1番1号 TEL099-273-4175 FAX099-273-4177 E-mail yusunosato@kagoshima-swc.jp	日中活動 80 / 施設入所 70
	特定相談支援事業	ゆす	—	—
⑨	障害福祉サービス事業 (生活介護・生活訓練)	リハステーションゆす	〒892-0836 鹿児島市錦江町3番7号 TEL099-295-0415 FAX099-295-0453 E-mail rihayusu@kagoshima-swc.jp	20
⑩	障害者支援施設	川内自興園	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-22-4801 FAX0996-22-4803 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	日中活動 140 施設入所 100
	障害福祉サービス事業 (共同生活援助)	川内ひまわりホーム	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-20-1261 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	30
	特定相談支援事業 障害児相談支援事業	あおぞら	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-22-5006 FAX0996-22-5008 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	—
	障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス事業)	チャイルドクラブ あおぞら	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-21-1517 FAX0996-21-1518 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	10
	障害者就業・ 生活支援センター事業	かごしま障害者就業・ 生活支援センター	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番217号 県住宅供給公社ビルC棟2階217号室 TEL099-248-9461 FAX099-248-9462 E-mail kssc@kagoshima-swc.jp	—
⑪	障害者就業・ 生活支援センター事業	はくさつ障害者就業・ 生活支援センター	〒890-0027 薩摩川内市西向田町11番26号 TEL0996-29-5022 FAX0996-29-5033 E-mail hssc@kagoshima-swc.jp	—

飛：翔

HISHO

Vol.57



(改築した放課後等デイサービス チャイルドクラブあおぞら/薩摩川内市)



(オープニングセレモニーの様子)

CONTENTS

【特集】チャイルドクラブあおぞら施設一新	P02
経営計画2019/令和元年度事業計画	P04
なっとわーく～施設の窓から～	P06
令和元年度 新任採用職員紹介	P10
平成30年度 事業報告/決算報告	P12



社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団

Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階

TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939

E-mail j-office@kagoshima-swc.jp URL www.kagoshima-swc.jp



特集



指定放課後等
デイサービス事業
(通所)

チャイルドクラブ あおぞら ～地域の子ども達と家族のために～

放課後等デイサービス事業は地域で暮らす障害のある児童や生徒に学校の授業終了後や長期休暇中等に通所いただき、様々な活動や訓練等を提供するサービスです。「チャイルドクラブあおぞら」はそのような支援を受けたいとの地域の方々の声に応えるため、平成27年4月に定員10名で開所しました。当事業所は、これまで旧職員宿舎の一角を活用して、事業を実施してきましたが、老朽化やバリアフリー対応ができていないこと等から、安心安全で設備の充実した場所を提供したいとの思いで、平成31年4月に施設を一新しました。

新しい建物は延床面積が約300㎡で全面バリアフリーとなっており、構造は温かみのある木造平屋建てとなっています。間取りは主な活動場所として指導訓練室、遊戲室、集会室、多目的室兼食堂の4種類の部屋が設けられているほか、専用の園庭も整備され、以前より幅広い活動が可能となっています。部屋の特色については、例えば遊戲室には雨天でも体を動かせるように、クライミングロープ等が設置されている等、子ども達が思い切り体を動かしながら訓練等ができるよう配慮しています。また、指導訓練室や集会室には子ども達が転んだり、寝転んだりしても痛くないように、クッション性の高い床材を使用しています。

このような素晴らしい建物ができあがったのも、地域の皆様方をはじめとする関係各位のお力添えがあったからだと思えます。

そのような皆様の思いの詰まった新しい「チャイルドクラブあおぞら」でこれからも子ども達の「あおぞら」のような澄みきった爽やかな笑顔が続いていこう、職員一同精一杯がんばっていききたいと思います。

雨の日も遊べる遊戲室



園庭から見るテラス等



基本活動

自立支援と日常生活の 充実のための活動

基本的日常生活動作や自立生活を
支援するための活動を行っています



年末の大掃除。ぞうきんを洗って、絞って、みんなで窓拭きをしました。



みんなで手作りおやつを作ります。後片付けまでしっかり行いました。

創作活動

表現する喜びを体験できるようにしています。
また、自然に触れる機会も設けて
季節の変化に興味を持てるようにしています。



好きなパーツを組み合わせて、飛行機作り。思い思いの飛行機ができて大満足です。



夏の暑い日、野菜が大きく育つように草取りをがんばりました。

地域交流の機会の提供

子ども達の社会経験の幅を広げるため、
積極的に地域との交流を図っています。



地域の方に風作りを教えてもらいました。地域の方とのふれあい楽しかったです。



消防士さんにお話を聞いて、防災の意識を高めました。

余暇活動の提供

子ども達が望む遊びやリラックスできる活動を
自分で選択できるように、多彩な活動プログラムをゆったりとした雰囲気の中で行っています。



新聞紙をちぎったり丸めたり、巧緻性(指先の器用さ等)を育てることも目的としています。



テラスでのひなたぼっこも大好きです。支援者との話合いの場でもあります。

あおぞら通信

利用者の家庭だけでなく、各学校や相談支援事業所に配布しています。イベントをいち早くお知らせし、たくさんの子ども達がチャイルドに行くのを楽しみにして貰えるようにしています。



- 営業日/月曜日～土曜日・祝日
- 学校営業日/10:00～18:00
- 学校休業日/9:00～17:00

お問合せ先(藤原川内市百次町1110)
TEL.0996-21-1517
FAX.0996-21-1518

鹿児島県社会福祉事業団経営計画2019 (2019年度から2021年度)

当事業団では、平成30年度に終了した「第二期経営計画」の取組状況などの検証や評価を行うとともに、その基本的な方向を踏まえつつ、将来にわたる環境の変化や影響を考慮し、直面する課題や今後予想される新たな課題にも的確に対応しながら、更に「基本理念」の実現や「利用者満足」「職員満足」「経営満足」の三者満足に、今回新たに地域の視点として「地域満足」を加え、四者満足の実現を図っていくため新たな「経営計画2019」を策定しました。

「基本理念」や「経営理念」の実現を目指すという基本的な方向のもとに、4つの柱からなる経営方針を掲げるとともに、方針に沿って計画の推進目標を設定し、職員一丸となって取り組んでいくことにしています。

(2019年3月策定)

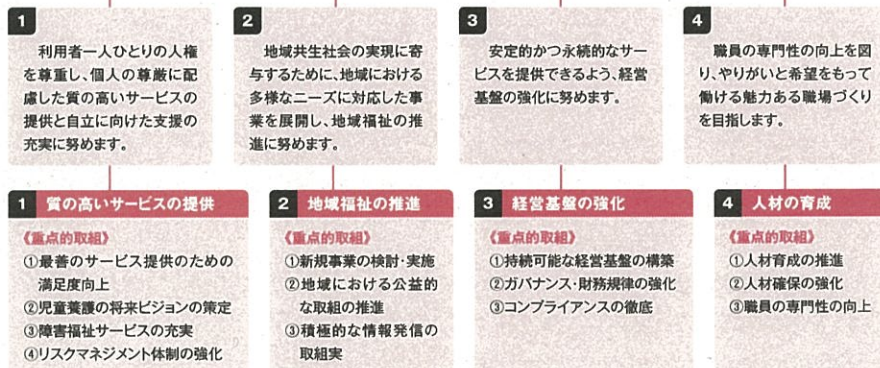
基本理念

経営理念

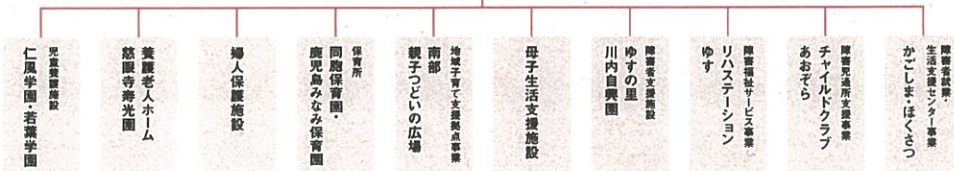
事業団を利用するすべての方々の幸せの追求と地域社会に対する貢献、事業団で働く職員が魅力とやりがいを感じられる職場環境の整備、安定的かつ持続的な施設運営のための経営基盤の強化を図ることで、四者満足(利用者満足・地域満足・職員満足・経営満足)を実現し、公益性と経済性のバランスの取れた法人経営に努め、地域に信頼され愛される法人を目指します。

経営方針

推進目標



施設別計画



令和元年度 事業計画

I 基本方針

我が国の経済は緩やかな回復基調が続いており、先行きについても雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続くことが期待されている。また、県内の景気については雇用情勢が堅調に推移しているものの、生産活動や消費関連がやや弱含むなど、全体として弱まりつつある状況である。

社会福祉を取り巻く環境については、平成28年の社会福祉法の改正に伴い、福祉サービスの供給体制の整備及びその充実を図るため、社会福祉法人の経営組織の見直しや事業運営の透明性の確保などを図ることとされている一方で、福祉分野における人材確保は引き続き困難な状況が続いている。

このような中、当事業団においては平成28年度から30年度までの第二期経営計画の基本的な方向性を踏まえつつ、鹿児島県社会福祉事業団基本理念(以下「事業団基本理念」という。)に基づき、「利用者満足」「地域満足」「職員満足」「経営満足」の四者満足の実現を図るため、平成31年から新たな3か年を計画期間とする「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2019」をとりまとめた。

平成31年度については、同計画の初年度として計画的な推進体制を構築するとともに各般の事業実施に取り組み、地域における社会福祉事業の担い手として、より水準の高い事業経営を推進する。

1. 質の高いサービスの提供

利用者一人ひとりの人権を尊重し、個人の尊厳に配慮した質の高いサービスを提供するため、職員の人権意識の醸成を図るとともに、第三者評価の受審や施設内サービス評価を推進する。また、児童養護施設の将来ビジョンや障害福祉サービスの充実に向けた検討を進めるとともに、利用者の安心・安全を確保するためのリスクマネジメント体制の強化を図る。

2. 地域福祉の推進

地域共生社会の実現に寄与するため、地域における公益的な取組の推進を図るとともに、事業団が持つ様々な分野の専門性を生かし、地域に必要とされ貢献できる新規事業の検討を行う。また、事業団の理念や活動状況等を積極的に情報発信し、地域住民等からより一層の信頼を得ることができるよう取組を推進する。

3. 経営基盤の強化

安定的かつ持続的なサービスを提供することができるよう経営基盤を強化するため、月次実績会議の充実を図るとともに、ガバナンスや財務規律の強化に向けた取組を行う。また、職員一人ひとりが高い倫理性を持って職務の遂行ができるよう、コンプライアンスの徹底を図る。

4. 人材の育成

職員がやりがいと希望を持って働ける魅力ある施設づくりを目指し、キャリアパス制度、勤務評価制度、職員研修制度の見直しを図る。また、より効果的な広報媒体やツールを活用して人材確保の取組を強化するとともに、資格取得や実務研究論文等の作成・発表を推進し、職員の専門性の向上を図る。

児童養護施設 仁風学園

学習支援の取り組み

子ども達の基礎学力と集中力の向上を目標に、当園では本年度から委員会を立ち上げ、子ども達への学習支援の取り組みを新たに始めました。学校の宿題に加え、ドリル教材を1日1ページ取り組んでいます。

学習支援を導入するにあたり、当初は職員の中でも圧倒的に「業務が忙しくなる」、「子ども達への支援に手が回らなくなる」といった声が多数を占め、実現は難しいかと思われました。



一方で、子ども達には得意科目を伸ばし、苦手科目を克服するための支援が必要だという意見もありました。

昨年度、県内の他施設の「公文式学習」の取り組みを見学したり、研修会に参加したりしてきました。どの施設もとても充実した取り組みがなされており、大変参考になるものでした。それらの活動を職員へ紹介し、最後の職員向けのアンケートでは、過半数が学習支援に賛成という結果に繋がることができました。

話し合いの中で、他施設のような「公文式学習」を取り入れることは難しく実現しませんでした。それに代わるドリル教材を購入して、少しずつ取り組むことに決めました。教科、実施場所、頻度等を詳細に検討し、今年度の4月からスタートする運びとなりました。まだ運用が開始されたばかりで、子ども達も職員も日々模索しながらの状況です。まだまだ課題も山積していますが、子ども達は少し学習の環境が変わっただけでも、普段より集中して取り組むことができています。これから実施する中で出てくる問題点について改良を重ね、この取り組みをなんとか軌道に乗せ、子ども達の基礎学力の向上につながるよう、全職員で取り組んでいきたいと考えています。

●児童指導員：中野 宏之

養護老人ホーム 慈眼寺寿光園

「寿光園カフェ」開催!

慈眼寺寿光園では5月8日に園内喫茶、通称「寿光園カフェ」を開催しました。

園内喫茶は他施設でも行われている行事ではありますが、利用者の方々にとって園生活で「選ぶ」という機会が少ない中、自分達が選んだもので楽しいひと時を過ごしていただきたいと思い、今年から年4回の実施する計画を立てました。

当日は、日頃利用する食堂にテーブルクロ



スを敷き、ドリンクメニューをセッティングし、利用者の方々がまるで本物の喫茶店にいるような雰囲気が出るように工夫をしました。ホールスタッフ係の職員には勤務中着用するポロシャツではなく、襟付きの白シャツに緑色のエプロンを着用してもらい、準備万端で利用者の方々のお出迎えをしていただきました。

「いらっしゃいませ。お好きな席へどうぞ。」見慣れない職員の格好を見て、笑顔になる利用者の方々もいらっしゃいました。

席に座ると、ホールスタッフ係の職員が「ご注文をお伺い致します。」とドリンクのオーダーに伺います。今回はホットコーヒー、紅茶、新茶の3つの中から好きな飲み物を選び、季節のお菓子と一緒に楽しんでもらうようにしました。

職員も利用者の方々の中に入って語り合



い、「こんなのは初めてだ〜。」と喜ぶ利用者の方々笑顔と共に、ゆったりとした時間を過ごすことができました。

次回は夏に実施予定です。冷たい飲み物も加え、デザートは「あんみつ」で現在計画思考中です。利用者の方々がさらに笑顔になるように取り組んでいきたいと思っています。

●栄養士：前田 理沙

児童養護施設 若葉学園

初めてがたくさんの一日

～美山の窯元及び春一番農場収穫体験～



「わぁ!大きい!」「これに乗れるの!?!」

鹿兒島銀行のオリジナルキャラクターである「しろどん」が描かれたバスを目の当たりにし、子ども達のテンションは早くも最高潮です。

3月16日(土)、公益財団法人かぎん文化財団の方々から地域文化にふれあう体験会にご招待いただき、美山の窯元及び春一番農場収穫体験に参加するため小学生男女9名が参加し、日置市を訪れました。天候にも恵



まれ、春一番農場では新玉ねぎの収穫に挑戦。直接手で触れて大きなものを選び、気付けば両手にいっぱい玉ねぎを抱え、大喜びの笑顔から達成感を感じました。隣接されたオリブオイルを生成する工場の見学と試食も行いました。

昼食をとり、次に向かった先は沈壽官窯取蔵庫。これまでとは一味違った雰囲気の中、現在も使用されている窯や見たことのない値段のついた作品などを見学し、中でも、実際に職人さんが作業している様子に釘付けでした。その後、美山陶遊館に移動し、ロコ口を使用して本格的な薩摩焼づくりに挑戦しました。それまで大はしゃぎだった子ども達も、真剣な眼差しで思い思いの作品を作り上げていきます。焼き上がりを楽しみに、今回の全日程を終えました。日常生活の中ではなかなか経験で



きないことに肌で触れる体験ができて、帰りのバスの中では全員熟睡でした。体験中の子ども達一人ひとりの表情から充実した1日であったことが感じられました。後日焼きあがった薩摩焼が学園に届き、完成した作品に全員が満ちた様子で、さっそくお茶を飲む子ども達の姿もありました。今回、ご招待いただきました。かぎん文化財団の皆様には厚く御礼申し上げます。

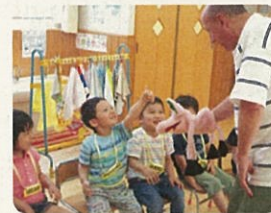
●児童指導員：下市 悠太郎

保育所 同胞保育園

英語であそぼう

「えいごってなあに?」と不思議そうに聞いている子ども達。今年の春から3歳児クラスに進級し、「英語であそぼう」、「運動教室」等、講師の方を招いた新しい行事へ参加する機会が増えてきました。

先日、初めて「英語であそぼう」に参加しました。最初は緊張気味の様子でしたが、講師の方がギターを弾いて英語の歌を歌い始め



ると、子ども達に笑顔が見られ、気持ちよさそうに聞き入る姿がありました。

歌が終わると、講師の方が靴の中をごそごそ。「なにかな」とワクワクしていると、中から出てきたのは動物のおもちゃ。ライオンやキリン、ゴリラ等、各10体ほど出てきて、子ども達は大喜びでした。講師の方が英語での動物の名前や数の発音を伝えると、一緒に発音して楽しむことができました。

その他にも、挨拶や英語の絵本の読み聞かせを見たり、リズムに合わせて「I like~」を使った表現の練習をしたりして活動を楽しみました。

今回の「英語であそぼう」という行事を通して、面白さ・楽しさを存分に味わえる貴重な機会となりました。

これから毎月、子ども達の大好きな講師の



方と一緒に様々な英語に触れ、日常的に使える英語を沢山吸収していけたらと思います。また、個々の頑張っている姿を認め、英語への興味関心を高めつつ、外国の方に親しみをもって接することができる子どもへと成長できたらと思います。

●保育士：桐原 美明

保育所 鹿児島みなみ保育園

初めての運動会

6月15日、運動会が行われました。私の担当する1歳児クラスはほとんどが新入園児で運動会に参加するのも初めてでした。園内の予行練習では周りを気にしながらも楽しんでいた子ども達。本番は広い鴨池ドームで行われるので子ども達の反応が不安でもあり、楽

しみでもありました。運動会の練習は日々の保育の積み重ねです。

毎日のように音楽を流し、徐々に覚えていくよう工夫しました。遊びに夢中になっているので、好きな曲が流れると自然にリズムに乗

って動き出すようになり、その中でも子ども達が一番楽しそうに踊る曲を運動会のお遊戯の曲にしました。練習を始めた頃はまだ園生活にも慣れず、泣くことも多かったのですが、2ヶ月たち、笑顔で踊る子ども達に成長を感じました。

そして迎えた運動会当日、子ども達は初めての場所に泣いてしまったり、緊張して動



けなかつたりという様な様子がありましたが、子ども達の新たな一面、頑張る姿を見ることができました。次の大きな舞台、生活発表会に向けて子ども達と一緒に頑張っていきたいです。

●保育士：渡瀬 茄月

障害福祉サービス事業 リハステーションゆす

プログラムの充実に向けて

リハステーションゆすは、脳卒中や頭部外傷等により発症した「高次脳機能障害※」の方を対象とした通所施設です。平成28年度に開所し、今年度で4年目となります。

日中活動プログラムの中に作業療法があります。記憶障害のある方には、写真を利用した作業手順書の活用、手の麻痺がある方には、指先の細かい動作のリハビリなど、利用者一人ひとりの障害特性や趣味に合わせた



作業活動を提供しています。

その中で、レジンと革細工の活動をご紹介します。レジンとは、透明な専用の液体を紫外線で硬化し、色を付け、ラメを入れることでキラキラした宝石のようなオリジナルアクセサリや雑貨を作ることができるものです。バラや桜の花の形をしたマグネットや、ピアス等のアクセサリの制作を行っています。革細工は、バッグや通帳ケース、キーホルダーの制作を行っています。一つの作品を制作し、達成感を得ることを目的として実施してきましたが、今後は、制作した品物をバザー等で販売し、収益が得られる生産活動として実施し、利用者の方々のモチベーション向上につなげていきたいと考えています。販売している作品を見かけられた際には、購入していただけたら嬉しいです。今後ともさらに魅力ある施設づくりに



努めてまいります。

リハステーションゆすは高次脳機能障害の方を対象としており、昨年度までは高次脳機能障害の診断書の提出を利用条件としていましたが、今年度より診断書の提出は不要となりました。詳しくはお問い合わせください。

●主任作業療法士兼主任支援員
梅木 和昭

※記憶障害、注意障害、遂行機能障害（優先順位がつけられない等）、社会的行動障害（やる気が出ない等）等、気づきにくい障害といわれています。

障害者支援施設 ゆすの里

「無料開放講座」について

ゆすの里では、月に1回、当施設の専門職員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、心理判定員、管理栄養士等）による地域の方々へのニーズに合わせたテーマで無料開放講座を開催しています。当施設の訓練室や会議室での講座や地域の公民館を使



用しての出張講座も行っています。

5月に開催したテーマは「噛む力、飲み込む力」について講座を開催しました。最近、耳にするようになった誤嚥性肺炎について、飲み込みのメカニズム、飲み込みやすい・飲み込みにくい食べ物、お口の中、入れ歯のケアの仕方など身近な内容をイラストや実演を踏まえながら講座を行いました。また、食事前や寝る前に簡単に行える誤嚥予防体操、現在の飲み込む力のセルフチェックの仕方を参加者の皆様と一緒に学び、笑顔あふれる時間となりました。講座後も飲み込みに対してや言語聴覚療法に対して多くの質問をいただきました。

無料開放講座では、理学療法士による体操や作業療法士による紙飛行機作り、支援員によるパソコン講座など様々な世代を対象



としたテーマで開催しています。今後も地域の方々に幅広く興味を持っていただけるような内容を提供していきたいと思っています。

●言語聴覚士兼支援員：宮園 健志

かごしま障害者就業・生活支援センター

交流会で地熱資源について学ぶ

当センターでは、在職中の利用者の方々同士が交流し、職場定着の促進を図ることを目的として年に4回、「よか・余暇さろん」と題して在職者交流会を行っています。

今年度第1回目を6月9日に行い、19名の利用者の方々が参加しました。

今回は「地熱資源の活用を在り方を学ぶ」をテーマに実施し、自然豊かな温泉の街として知られる指宿市に在る山川地熱発電所を訪れました。



地熱発電は、化石燃料を使わず、地下から取り出した蒸気を利用する環境にやさしいクリーンな発電方法です。山川地熱発電所では、約3万キロワットを発電し、これで指宿市の一般家庭の約半分を占める約1万戸分の電力をまかなっているそうです。

利用者の方々からは、地熱資源について学び、日々の生活でももっとエコを心掛けていきたい等の意見もありました。

帰りは薩摩半島最南端にある長崎鼻から開聞岳を眺めたり、電宮神社に立ち寄り、皆それぞれの思いで参拝したりしました。

今回は、鹿児島市の福祉バスを活用した交流会で、車内の移動時間も含めて在職者同士で職場における仕事内容や悩みについて話し合う機会となり、ストレス発散の場となっている様子でした。



今後とも在職中の利用者の方々同士で互いの悩みや楽しいことを分かち合い、職場定着の励みになる交流会ができるよう職員一同努めてまいります。

●主任支援員：十島 太郎

令和元年度 新任採用職員紹介

①氏名 ②勤務先・職名 ③特技・趣味 ④自己アピール・抱負



Kamiyama Minako

- ① 神山 未奈子 (かみやま みなこ)
- ② 仁風学園 児童指導員
- ③ 読書
- ④ 一日でも早く子ども達から信頼される指導員になれるよう、目の前の事にしっかりと向き合い支援していきたいと思っています。よろしくお願いします。



Obara Mao

- ① 尾原 茉央 (おばら まお)
- ② 同胞保育園・保育士
- ③ 映画鑑賞
- ④ 一日でも早く仕事を覚えて、子ども達の笑顔に繋がる関わりが出来るように頑張ります。これからよろしくお願いします。



Hirata Koudai

- ① 平田 皓大 (ひらた こうだい)
- ② 仁風学園 児童指導員
- ③ ミニ四駆・子どもと遊ぶこと
- ④ 子どもの目線に立って一緒に遊んで、信頼関係を築くのが得意です。事業団職員として責任を持って仕事に取り組み、利用者の方々からの信頼を得ていきたいです。



Sakaguchi Eri

- ① 坂口 恵理 (さかぐち えり)
- ② 鹿児島みなみ保育園 保育士
- ③ 裁縫・ドラマ観賞
- ④ 日々、子ども達の可愛さに癒され、元気をもらっています。何事にも積極的に挑戦し、保育士として一人前になれるよう先輩方を見習って頑張っていきます。よろしくお願いします。



Shimoichi Yuutarou

- ① 下市 悠太郎 (しもち ゆうたろう)
- ② 若葉学園 児童指導員
- ③ スポーツ・温泉巡り
- ④ 子ども達のもつ様々な感情に寄り添い、共に成長していきたいと思っています!



Miyazono Takeshi

- ① 宮園 健志 (みやぞの たけし)
- ② ゆすりの里 言語聴覚士兼支援員
- ③ マリンスポーツ
- ④ 利用者の方々に笑顔と満足度の高いリハビリテーション・支援を提供できるよう努めていきます。



Yoshida Masashi

- ① 吉田 匡志 (よしだ まさし)
- ② 慈眼寺寿光園 支援員
- ③ 子どもと遊ぶこと
- ④ “一期一会”
利用者一人ひとりとのお会いを大切に笑顔溢れる職員を目指して頑張りたいと思います。



Manabe Rimi

- ① 真邊 りみ (まなべ りみ)
- ② 川内自興園 支援員
- ③ 掃除・旅行
- ④ 初めての事ばかりで緊張の連続ですが、責任を持って頑張りたいです。



川内自興園 主査支援員
堀之内 満

- ① 事業団に勤務されて一番印象に残っていることは何ですか?
これまで勤務している中で、悲喜こもごも、色々ありました。たくさん思い出があるので、これが一番というのは決められませんが、様々な職歴を経験させていただいたことで今があると感じています。
- ② 今、一番興味のあることは何ですか?
仕事面では、資格取得のための助成金制度を活用させていただき、社会福祉士等を取ることができました。現在、サービス管理責任者をさせて頂いている中で、福祉専門職として、自分をより高めていきたいと思っています。
プライベートな面では、たくさんの方に興味があり、なかなか一番というのは決めきれないですね。

- ③ 休日の過ごし方を教えてください。
休日は、炊事洗濯から掃除まで家事全般を自分でしています。男やもめですね(苦笑)。昼食の弁当も毎日作っており、ある程度の料理は作れます。他には時間がある時に近辺を散歩しています。あとは温泉めぐりでしょうか。
- ④ 座右の銘は何ですか?
「右が0.3で左が0.2...それは左右の目...」とある落語家さんの小唄ですね。
私の座右の銘は、「一隅を照らす光となれ」です。一隅とは自分自身がいる場所の事です。お金や財産ではなく、家庭や職場等、自分自身が置かれたその場所で精一杯努力し、明るく光り輝く事のできる人こそ何物にも変えがたい尊い国の宝です。一人ひとりがそれぞれの持ち場で全力を尽くす事によって社会全体が明るく照らされていきます。自分のためだけでなく、施設の利用者の方々やそのご家族まで幸せに過ごすことができるよう自分自身も微力ながら努力していきたいと思っています。
- ⑤ 事業団に勤務している後輩へメッセージをお願いします。
入社してから25年以上経ち、年々見た目は老けていく...。誰もが通る道なんだろうが、年が経つと経験を色々と積んでいきます。今の苦労が後々の自分の引き出しを増やしていくものだと思うのでさげと感ずます。
「誰もが悩みながら生きているものされど人生一日1ミリ」

事業団 施設見学会

令和元年5月18日、19日に事業団施設見学を行いました。鹿児島県社会福祉事業団には様々な分野・種別があり、見学会を通して福祉の職場の魅力を知っていただくことを企画しました。鹿児島県の専門学校や短期大学、大学の学生の方々や学校の先生方、県外から参加された学生の方、一般の方等、2日間で29名と多くの方々に参加いただきました。実際に働く職員の姿や利用者の方々の姿を見ることができて、福祉の現場で働きたいと思ってもらえたと感じた2日間でした。



興味のある方はいつでも個別で施設を見学することができますので、お気軽にお問い合わせください。

TEL:099-257-7667 メールアドレス:j-office@kagoshima-swc.jp

職員提案結果発表

業務の活性化と施設のサービス向上を目的に職員提案の募集を行いました。平成30年度は2つの提案が提出され、今回はおしくも入選以上に輝きませんでしたが、貴重な提案いただきありがとうございました。

令和元年度も次の期間で募集を行う予定です。今後も業務の活性化と施設のサービス向上のためたくさんのご応募お待ちしております!

第1期募集:7月1日~8月31日 第2期募集:10月1日~12月31日

●1on1ミーティングの実施 ●児童発達支援事業に関する新規事業の企画について

平成30年度 事業報告

I 基本方針

我が国の平成30年度の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で穏やかな回復基調が続いた。また、県内景状についても穏やかな買入服が続くとともに、有効求人倍率が過去最高となるなど、雇用情勢は堅調に推移してきた。

社会福祉法人を取り巻く環境については、平成28年の社会福祉法改正に伴い、さらに公益性の高い法人経営が求められている一方で、福祉・介護分野における人材不足はこれまで以上に顕著となり、県内においても雇用環境の改善と相まって人材確保の厳しい状況が続いた。

このような中、当事業団においては第二期経営計画の最終年度として、改正社会福祉法への適切な対応を図りつつ、自律的かつ自主的な経営を目指し、各般の事業・実施の具体化と計画的な推進を図った。

また、各施設においては、事業団基本理念及び職員倫理綱領に基づき、利用者や地域のニーズを的確にとらえ、質の高いきめ細やかなサービスの提供と自立に向けた支援の充実に努めるとともに、地域における社会福祉事業の担い手として、より高い水準の事業経営に努めた。

1. 質の高い福祉サービスの提供

職員全員が事業団基本理念に沿って同じ視点に立ち、利用者が自立して豊かな生活を送ることができるよう、児童福祉や障害者福祉、高齢者福祉などそれぞれの分野における専門性の高いサービス提供に努めた。また、事業団危機管理指針に基づき防災ハンドブックを作成し、リスクマネジメント体制の推進を図った。

2. 地域福祉の推進

地域における公益的な取組を推進するため、既存の公益事業の発展に努めるとともに、福祉サービス相談事業の充実を図った。

また、事業団の専門性を生かせるような新規事業として、リハステーションゆすにおいて生活訓練を、川内自興園において就労定着支援をそれぞれ開始した。

3. 経営基盤の強化

経営指標を設定し、月次実績の分析を行うとともに、四半期ごとに開催する経営推進会議において経営状況の分析及び増収策の検討を行い、経営基盤の強化を図った。

また、慈眼寺寿光園については「一般型特定施設入居者生活介護」への転換を行い、経営の改善に努めた。

4. 人材の育成

事業団としての使命と役割を永続的に果たしていくために必要な人材確保及び人材育成に資するため、今後の人材育成に関する基本方針及び人材育成制度の根幹となる枠組みを定めた「事業団人材育成計画」を策定するとともに、職員満足度調査を実施し、職員が働きやすく、働きがいのある職場づくりに努めた。

5. 法人の一体的経営

事業団基本理念の理解と実践を職員に浸透させ、施設経営を強固なものにするとともに、改正労働法に基づき非正規職員の無期労働契約への転換を対象者の希望に添って実施した。

施設整備については、チャイルドクラブあおぞらの改築工事が完了したほか、仁風学園の全面改築について、「新しい社会的養育ビジョン」等を踏まえ、継続的な検討を行った。

6. 理事会の開催状況

理事会を以下のとおり開催し、事業計画・事業報告、予算・計算書類及び財産目録、基本財産の処分、経営計画の制定、諸規則等の改正、入札及び契約の締結、施設長等の任免、評議員会の招集及び目的である事項等、法人の業務に関する重要事項について審議を行った。

決算報告

資金収支計算書

平成31年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動による収支	2,026,684,000	1,988,843,012	37,840,988
事業活動収入計	1,963,965,000	1,866,198,858	97,766,142
事業活動資金収支差額	62,719,000	122,644,154	△ 59,925,154
施設整備等収入計	58,567,000	54,750,000	3,817,000
施設整備等支出計	139,887,000	134,580,726	5,306,274
施設整備等資金収支差額	△ 81,320,000	△ 79,830,726	△ 1,489,274
その他の活動収入計	86,679,000	73,514,088	13,164,912
その他の活動支出計	81,620,000	81,274,028	345,972
その他の活動資金収支差額	5,059,000	△ 7,759,940	12,818,940
予備費支出	15,005,000	0	15,005,000
当期資金収支差額合計	△ 28,547,000	35,053,488	△ 63,600,488
前期末支払資金残高	443,213,000	443,212,144	856
当期末支払資金残高	414,666,000	478,265,632	△ 63,599,632

事業活動計算書

平成31年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	差異
サービス活動増減の部	1,963,888,030	1,921,126,069	42,761,961
サービス活動収入計	1,959,524,074	1,918,290,330	41,233,744
サービス活動増減差額	4,363,956	2,835,739	1,528,217
サービス活動外収入計	24,954,982	23,420,446	1,534,536
サービス活動外支出計	544,151	6,216,853	△ 5,672,702
サービス活動外増減差額	24,410,831	17,203,593	7,207,238
経常増減差額	28,774,787	20,039,332	8,735,455
特別増減の部	54,750,000	10,170	54,739,830
特別収入計	58,090,456	69,555	58,020,901
特別費用計	△ 3,340,456	△ 59,385	△ 3,281,071
特別増減差額計	25,434,331	19,979,947	5,454,384
当期活動増減差額	1,237,035,652	1,296,906,705	△ 59,871,053
繰越活動増減差額の部	1,262,469,983	1,316,886,652	△ 54,416,669
前期繰越活動増減差額	69,394,000	6,649,000	62,745,000
当期末繰越活動増減差額	67,000,000	86,500,000	△ 19,500,000
その他の繰入金取崩額	1,264,863,983	1,237,035,652	27,828,331
その他の繰入金取崩額			
次期繰越活動増減差額			

貸借対照表

平成31年3月31日現在 (単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	722,042,671	575,106,824	146,935,847	流動負債	300,777,052	185,310,684	115,466,368
固定資産	4,111,737,393	4,178,986,503	△ 67,249,110	固定負債	264,933,250	263,191,368	1,741,882
基本財産	3,457,546,816	3,522,089,617	△ 64,542,801	負債の部合計	565,710,302	448,502,052	117,208,250
その他の固定資産	654,190,577	656,896,886	△ 2,706,309	純資産の部			
資産の部合計	4,833,780,064	4,754,093,327	79,686,737	基本金	531,752,699	531,752,699	0
				国庫補助金等特別積立金	2,222,871,080	2,285,826,924	△ 62,955,844
				その他の積立金	248,582,000	250,976,000	△ 2,394,000
				次期繰越活動増減差額	1,264,863,983	1,237,035,652	27,828,331
				純資産の部合計	4,268,069,762	4,305,591,275	△ 37,521,513
				負債及び純資産の部合計	4,833,780,064	4,754,093,327	79,686,737

財産目録

平成31年3月31日現在 (単位:円)

資産・負債の内訳	
I 資産の部	
流動資産	765,100,075
固定資産	4,111,737,393
資産の部合計	4,876,837,468
II 負債の部	
流動負債	343,834,456
固定負債	264,933,250
負債の部合計	608,767,706
差引純資産	4,268,069,762

苦情解決の対応状況

平成30年度に受け付けた当事業団苦情対応規程に基づく苦情の件数は、事業団全体で33件でした。

施設種別	苦情件数	苦情申出人				苦情種別内訳						
		利用者	家族	代理人	その他	職員の接遇	サービスの質	利用料	説明・情報提供	被害・損害	権利侵害	その他
児童養護施設	1		1			1						
養護老人ホーム	9	6	3			2	1		5			1
婦人保護施設	1	1							1			
保育所	7	6			1	5	1					1
地域子育て支援拠点事業												
母子生活支援施設	2	1			1	1						1
障害者支援施設	12	8	2		2	1	1		1	1		8
障害福祉サービス事業	1				1	1						
合計	33	22	6		5	11	3		7	1		11

寄せられた苦情に対しては、「相談苦情対応マニュアル」に従い迅速かつ適切に対応し解決しています。
今後も利用者・関係者の皆様からの声（相談・苦情）を大切に受け止めサービスの向上に努めていきます。

役員名簿

役員名	氏名	現職名等	当初就任年月日
理事長	森 秀樹		再任
常務理事	生見 博志	(事務局長兼務)	再任
理事	内門 公孝	前 鹿児島県社会福祉協議会常務理事	再任
"	西井上 誠	鹿児島県社会福祉協議会常務理事	再任
"	高野 繁	鹿児島県民生委員児童委員協議会会長	再任
"	田中 正幸	鹿児島県共同募金会常務理事兼事務局長	再任
"	徳永 千早	若葉学園長	再任
監事	池田 利博	元 仁風学園長	再任
"	臼井 英雅	前 若葉学園長	再任

役員任期：令和元年6月25日から令和3年度の定時評議員会の終結の時まで

評議員名簿

役員名	氏名	現職名等	当初就任年月日
評議員	諏訪 弘美	元 鹿児島県社会福祉協議会常務理事	再任
"	松田 典久	日本赤十字社鹿児島県支部事務局長	再任
"	渡邊 正人	鹿児島県民生委員児童委員協議会副会長	再任
"	堀脇 健一郎	鹿児島県身体障害者福祉協会常務理事兼事務局長	新任
"	洲崎 弘美	鹿児島県手をつなぐ育成会常務理事兼事務局長	再任
"	満元 良明	鹿児島県老人クラブ連合会常務理事兼事務局長	新任
"	房村 正博	鹿児島県くらし保健福祉部次長	新任
"	田島 栄治	鹿児島県くらし保健福祉部参事(子育て・高齢者支援担当)	再任

評議員任期：平成29年4月1日から令和3年度の定時評議員会の終結の時まで

夏野菜の具たくさんそうめん Recipe!



材料(1人分)

●おくら	3本(90g)	●塩	少々
●長芋	3cm(40g)	●豚しゃぶ肉	4枚(80g)
●プチトマト	3個(45g)	●塩	少量
●きゅうり	1/4本(25g)	●ごま油	少量
●梅干し	2個	●そうめん	1束〜2束
●めんつゆ(ストレートタイプ)	小さじ2	●だし汁	適量
●なす	大きめ1/8本(80g)	●めんつゆ(ストレートタイプ)	適量
●ごま油	小さじ2		

作り方

- ①：おくらはいまわりの塩で板ずりをし、幅2〜3cmに切ります。耐熱皿などに入れてラップをし、600Wで1分程度加熱します。
- ②：長芋はおくらと同じぐらいの大きき、プチトマトは4等分に切ります。梅干しは種を取り、たたきます。
- ③：①と②、めんつゆ小さじ2を混ぜます。
- ④：なすは薄切りにして、耐熱皿などに並べ、ごま油小さじ2と塩適量を振り、ラップをして600Wで1〜2分程度加熱します。
- ⑤：沸騰したお湯にごま油、塩を少量入れ、豚しゃぶ肉をゆでます。ゆでた豚しゃぶ肉は、氷水に入れ、よく冷まします。
- ⑥：そうめんはゆがき、流水でよく洗って水を切ります。
- ⑦：③、④、⑤、⑥を盛り付け、だし汁で2倍程度薄めためんつゆをかけます。

※お好みでごま油、鶏のり、ごま油をかける美味しく召し上がれます。
※川内自興園では、おくら、プチトマト、なすを栽培しています。

●仁風学園 栄養士 松永美鈴

ちょっと気になるニュース

シャボン玉を飛ばそう!

シャボン玉の機械寄付

4月下旬に、川内自興園職員の寺園好人様が来園され、手作りのシャボン玉が出る機械を寄贈して下さいました。子ども達は、一度にたくさん飛ばすシャボン玉をあまり見たことがなくとても興味津々で、終始しゃぼん玉に釘付けでした。

2階のテラスでは、飛んできたシャボン玉に触ろうと一生懸命に手を伸ばす姿や、「ふう〜っ」と息を吹きかけてみたりと、一人ひとり色々な楽しみ方をしていました。シャボン玉が割れると、「あっ」と少し残念そうな表情をしていますが、子ども達だけでなく、保育士も喜び子ども達の姿を見ることができ、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。いろいろな催しで活用したいと思います。

ぜひ同胞保育園に遊びに来てください!!!



お疲れ様でした!

平成31年3月31日付け退職

施設名	職名	氏名	
鹿児島みなみ保育園	主査保育士	中原 君子	右
川内自興園	支援員	島田 真二	右から2番目
事務局	主事	木ノ下 佳奈	右から3番目
ゆすの里	理学療法士兼支援員	宇都 国	左から2番目
川内自興園	支援員	阿久根 佑季	左

